

《原 著》

拡張型心筋症における β -blocker 療法の効果予測について

^{123}I -BMIPP, ^{123}I -MIBG 心筋 SPECT による検討

井上 有知* 山崎 純一* 南條 修二* 戸金 裕子*
天野 英夫*

要旨 拡張型心筋症 (DCM) の β -blocker 療法における治療効果予測を ^{123}I -BMIPP (BMIPP), ^{123}I -MIBG (MIBG) 心筋 SPECT を用いて検討した。DCM と診断され、 β -blocker 療法前に BMIPP と MIBG を同時期に施行した 37 例を対象とした。 β -blocker 療法後、左室駆出率 (LVEF) が 10% 以上改善した症例を改善群 (21 例)、10% 未満の改善に留まった症例を非改善群 (16 例) に分類した。 β -blocker 療法前の LVEF は両群間で有意差はなかった。 β -blocker 療法前の BMIPP の extent score, severity score は共に非改善群に比し、改善群で有意に低値 ($p < 0.001$) であった。治療前に BMIPP を施行し定量評価することで、 β -blocker 療法の効果を予測しうると考えられた。

(核医学 38: 99-104, 2001)